

REGAL ACCELERATE 24

フロリダ半島南端のキーラーゴで昨年9月に開催されたイベント「ACCELERATE 24」は、アメリカの老舗ボートビルダーである「REGAL BOATS (リーガル)」のディーラーカンファレンス。新たなフラッグシップとなる「50 SAV」と「43 SAV」、二つのニューモデルがお披露目された。

photo: REGAL BOATS
special thanks: REGAL JAPAN <https://regalboats.jp>



キーラーゴにある名門リゾート Ocean Reef Club で開催された REGAL BOATS のディーラー向けカンファレンス「ACCELERATE 24」。全米はもちろん世界中からディーラーや関係者が集まり、ウェルカムパーティーやディナー、ポートパレード、デモンストレーション、フィッシングイベントなどで親交を深めた。

2024年9月19日～21日、アメリカ合衆国フロリダ州キーラーゴにある Ocean Reef Club で、「REGAL BOATS (リーガル)」のディーラーカンファレンス「ACCELERATE 24 (アクセラレート 24)」が開催された。フロリダ州オーランドに本拠地を置く REGAL は、1969 年、現社長 Duane Kuck 氏の両親である Paul & Carol Kuck 夫妻によって創業、50 年以上の歴史を誇るアメリカの老舗ボートビルダーのひとつだ。コロナ禍などで休みの年もあったが、ディーラー向けの発表会を主にフロリダ州で例年秋口に開催してきた。

2024 年のイベントタイトルは「ACCELERATE 24」。目玉は「50 SAV」と「43 SAV」という二つのニューモデルの発表だ。SAV シリーズは 2019 年、同社の 50 周年を記念して新たに投入された意欲的なモデル。SAV とは「Sports Activity Vessel」の略で、右舷にハイドックアクセスと

日本のインポーター「REGAL JAPAN (リーガルジャパン / ヤマハ藤田)」も参加。写真向かって右から2番目が現社長 Duane Kuck 氏の実弟であり副社長を務める Tim Kuck 氏、その隣が REGAL JAPAN 代表の藤田忠久氏。



呼ばれるコンソールやブルワークトップと同レベルのサイドデッキを設けた左右非対称のセンターコンソール艇だ。特に広いデッキによりフィッシャビリティを強調、従来の REGAL のイメージとは一線を画すシリーズでもある。

今回その SAV シリーズに、「50 SAV」と「43 SAV」の2モデルが加わっ





た。新たなフラッグシップ「50 SAV」は、MERCURYのV12モンスター船外機Verado 600を3基搭載で、トップスピード49ノット超のハイパフォーマンス。「43 SAV」はYAMAHA F450XTO×3基で、こちらもトップスピード45.6ノットをマークするという。

イベントにはその他、YAMAHA F450XTOを3基搭載したフライブリッジモデル「42 FXO」をはじめ、主力モデルが多数登場し、デモンストレーションが行われた。近年のアウトボードの高馬力化を受け、やはりREGALのラインナップにもアウトボード仕様が目立つ。従来型のスターンドライブは限定的で、今後もアウトボードのトレンドは続きそうだ。

REGALの2025年モデルは、20～50フィートのレンジに全40モデルをラインナップ。「Sterndrive Bowrider」7艇種(20～36フィート)、「Outboard Bowrider」7艇種(20～36フィート)、「Surf」5艇種(22～38フィート)、「SAV」5艇種(33～50フィート)、「Express Cruiser」6艇



ビジネスカンファレンスで登壇するDuane Kuck社長。世界中から集まったディーラーや関係者に向け、REGALのビジョンを熱く語る。



種(24～33フィート)、「Yacht」10艇種(36～42フィート)となっている。「SAV」と共に「Surf」シリーズが充実してきているのも、最近の特徴と言えるだろう。P.B.

■ リーガルジャパン
TEL: 079-322-8800
<https://regalboats.jp>



YouTube

